

# 「三重県議会議員の選挙区及び定数とダイバーシティ社会、サイバーセキュリティに関するアンケート」実施報告書

「三重県議会議員の選挙区及び定数とダイバーシティ社会、サイバーセキュリティに関するアンケート」の実施結果を次のとおりご報告いたします。アンケートにご協力いただきましたe-モニターの皆様には厚くお礼を申し上げます。

## アンケートの概要

### 1 アンケート実施期間

平成 29 年 9 月 22 日（金）～平成 29 年 10 月 10 日（火）

### 2 アンケート回収状況

対象者数 1,166 名  
回答者数 786 名  
回答率 67.4%

### 3 回答者属性

- ・性別 【男性】 390 名  
【女性】 396 名

#### ・年代別

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
2人	57人	157人	218人	171人	141人	40人
0.3%	7.2%	20.0%	27.7%	21.8%	17.9%	5.1%

#### ・地域別

北勢	中勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
385人	210人	91人	74人	26人
49.0%	26.7%	11.6%	9.4%	3.3%

※北勢：四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、桑名郡、員弁郡、三重郡

中勢：津市、松阪市、多気郡

伊勢志摩：伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡

伊賀：名張市、伊賀市

東紀州：尾鷲市、熊野市、北牟婁郡、南牟婁郡

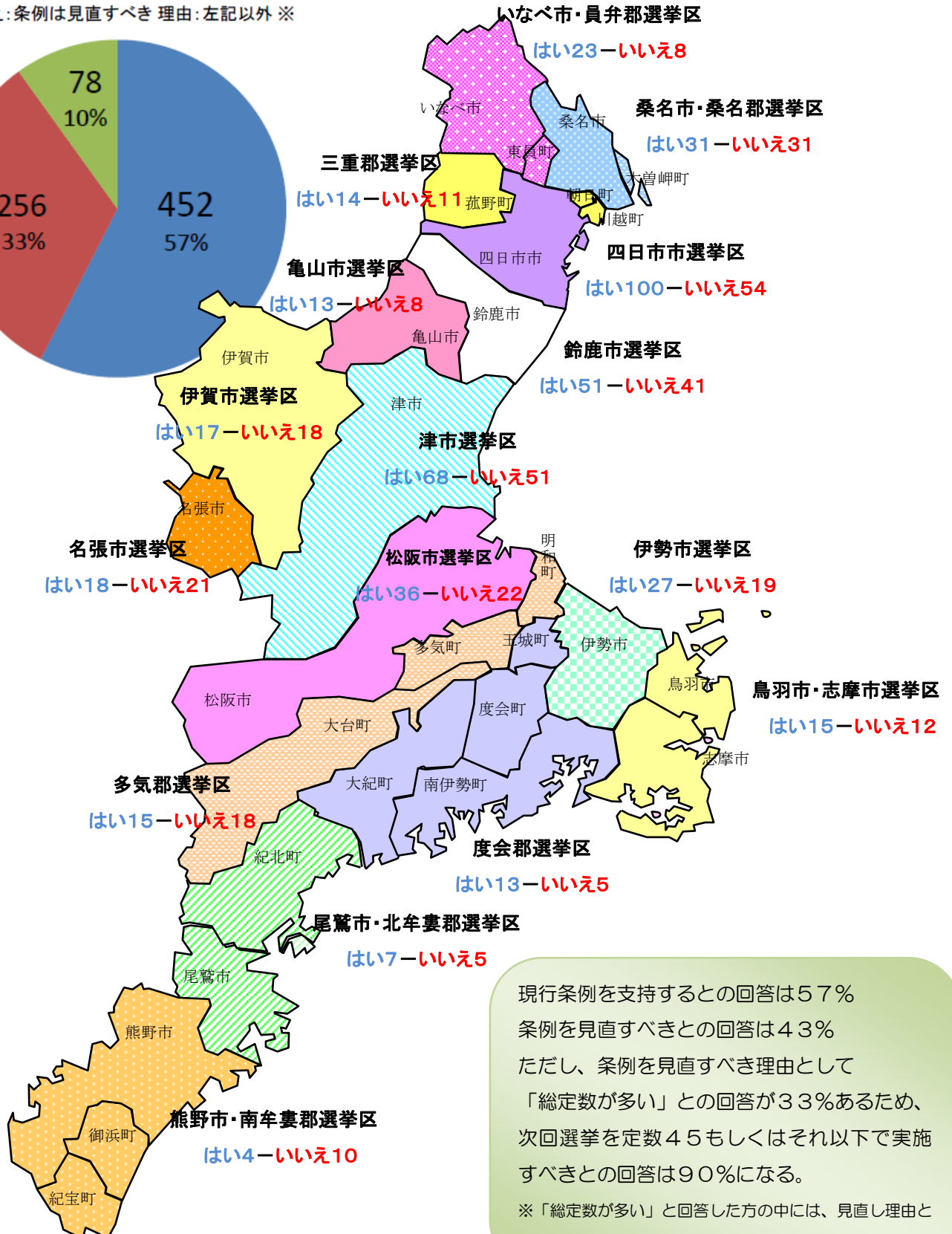
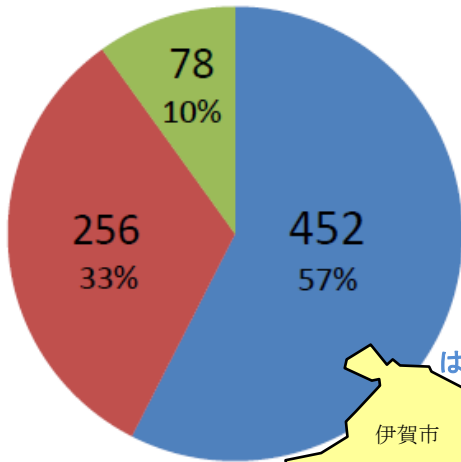
# アンケートの結果

## ○三重議員の選挙区と定数についての回答結果（Q1～Q3）

議会事務局企画法務課

### 【Q1】 次回県議会議員選挙を現行条例（定数 45 人）で実施すべきか？

- はい: 現行条例を支持
- いいえ: 条例は見直すべき 理由: 総定数が多い
- いいえ: 条例は見直すべき 理由: 左記以外 ※



現行条例を支持するとの回答は57%  
 条例を見直すべきとの回答は43%  
 ただし、条例を見直すべき理由として  
 「総定数が多い」との回答が33%あるため、  
 次回選挙を定数45もしくはそれ以下で実施  
 すべきとの回答は90%になる。  
 ※「総定数が多い」と回答した方の中には、見直し理由と  
 して、他の項目も複数選択した方もいます。

## 選挙区別の回答状況

選挙区	総回答数	はい: 現行条例を支持	いいえ: 条例は見直すべき	
			理由: 総定数が多い	理由: 左記以外 ※
津市	119	68	39	12
四日市市	154	100	43	11
伊勢市	46	27	12	7
松阪市	58	36	18	4
桑名市・桑名郡	62	31	26	5
鈴鹿市	92	51	35	6
名張市	39	18	18	3
尾鷲市・北牟婁郡	12	7	4	1
亀山市	21	13	6	2
鳥羽市・志摩市	27	15	5	7
熊野市・南牟婁郡	14	4	5	5
いなべ市・員弁郡	31	23	7	1
伊賀市	35	17	13	5
三重郡	25	14	10	1
多気郡	33	15	13	5
度会郡	18	13	2	3
合計	786	452	256	78

定数45人もしくはそれ以下の定数を支持する回答は  
708 (452 + 256) で全体の90%

選挙区	はい 現行条例を支持	いいえ: 条例は見直すべき	
		理由: 総定数が多い	理由: 左記以外 ※
現行条例改正時に定数等に変更のなかった選挙区	371	215	50
現行条例改正時に定数等に変更が生じた選挙区	81	41	28
合計	452	256	78

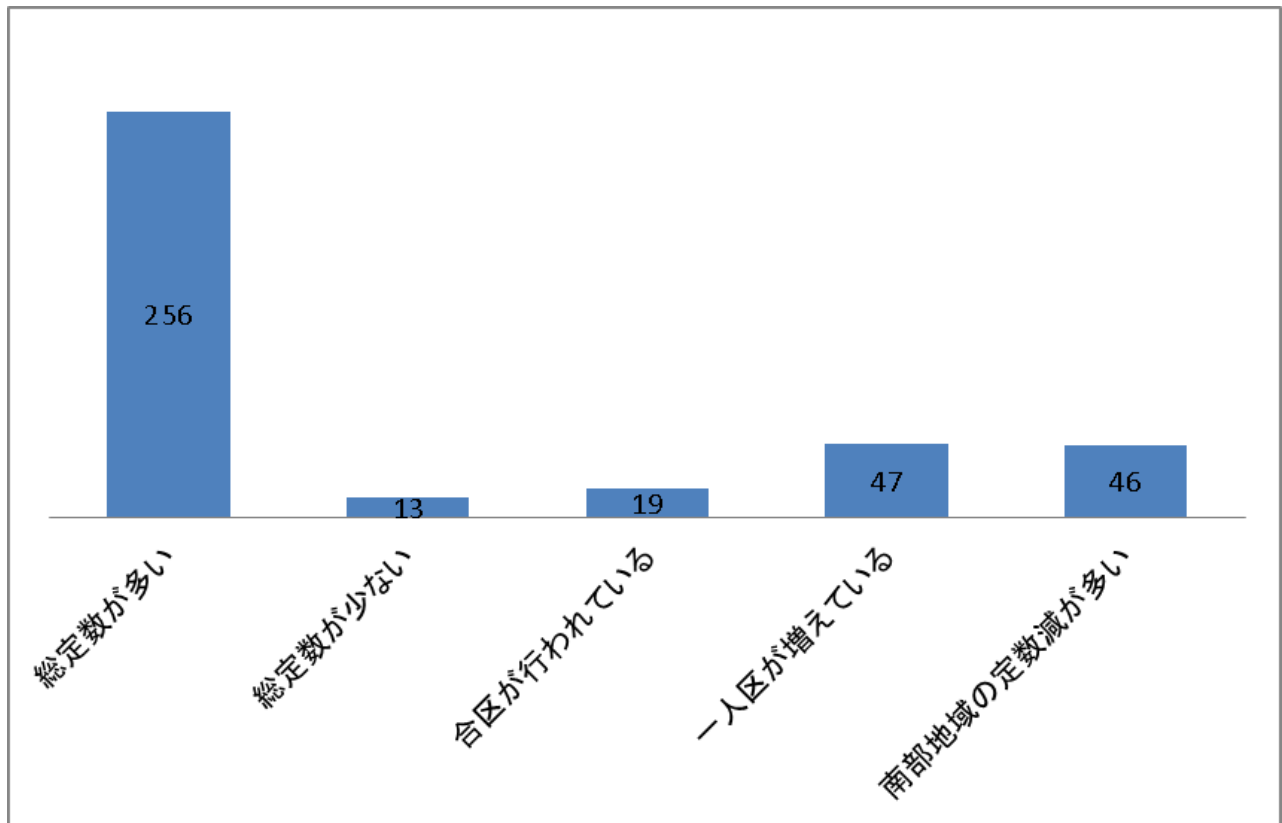
### 現行条例改正時に定数等に変更のなかった選挙区

津市選挙区、四日市市選挙区、松阪市選挙区、桑名市・桑名郡選挙区、鈴鹿市選挙区、名張市選挙区、亀山市選挙区、いなべ市・員弁郡選挙区、伊賀市選挙区、三重郡選挙区

### 現行条例改正時に定数等に変更が生じた選挙区

伊勢市選挙区、尾鷲市・北牟婁郡選挙区、鳥羽市・志摩市選挙区、熊野市・南牟婁郡選挙区、多気郡選挙区、度会郡選挙区

【Q2】 現行条例（定数 45 人）を否定する理由は何か？



選挙区別内訳

選挙区	A 総定数が多い	B 総定数が少ない	C 合区が行われている	D 一人区が増えている	E 南部地域の定数減が多い
津市	39	1	1	10	8
四日市市	43	1	2	10	5
伊勢市	12	2	2	3	4
松阪市	18	1	2	2	3
桑名市・桑名郡	26	2	2	3	2
鈴鹿市	35	1	3	3	3
名張市	18		1	2	1
尾鷲市・北牟婁郡	4				1
亀山市	6			1	1
鳥羽市・志摩市	5	1	2	3	4
熊野市・南牟婁郡	5		1	2	6
いなべ市・員弁郡	7		1	1	1
伊賀市	13	2	1	2	1
三重郡	10			2	1
多気郡	13	1	1	1	2
度会郡	2	1		2	3
合計	256	13	19	47	46

【Q3】定数・選挙区など県議会議員選挙のあり方についてのご意見（自由記述）

分類	分類項目	この設問では、以下のようなご意見をいただきました
1	現行条例で実施すべき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議決された事項を正当な理由もなく履行しないと云う事実を作るべきでない。</li> <li>・現行条例への改正により、一票の格差是正の目的は果たされており、それに基づき選挙を実施すべき。選挙を経ないままの条例改正では、前回の議論が無駄になる。</li> <li>・一度も選挙をしないまま定数を変えるのは県民の納得が得られない。</li> </ul>
2	一票の格差を重視すべき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投票の平等性を考えれば、1票の価値は限りなく1に近づけるべきである。</li> <li>・現行条例は1票の格差を少なくするために議論され、見直されたものであり、現行条例での実施を支持する。</li> </ul>
3	南部の定数減に懸念がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口が少ない地域の意見が通りにくくなり、偏ったものになる懸念がある。結果として、三重県の県としての力を削ぐことにならないか。</li> <li>・南部地域は直面する人口減少などの課題に対処せねばならず、南部地域こそ議員定数を増やし、打開策を見つけ出さなくてはならないのではないか。</li> </ul>
4	一人区が多くなることに懸念がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人区では選挙区が広くなり、結果として地域のことを熱心に見なくなるのではという懸念がある。</li> <li>・一人では地域の声がかちんと届くのかの不安がある。また、一人がその選挙区の意見を代表し得るのかについて疑問である。</li> <li>・一人区では死に票が多くなる。</li> </ul>
5	議員定数の更なる削減が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民の生活環境の変化やこれからの人口減少等の要素を考慮すれば、県議会議員の定数は削減する方向での検討が不可避ではないか。</li> </ul>
6	経費削減を考慮すべき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定数削減より議員経費の削減を考えてもらいたい。</li> <li>・議員数の削減は必要なく、議員報酬を下げるなどし、人件費の総額費用は維持したままで、議員定数を増やせばよいのではないか。</li> </ul>
7	議員定数を増やすべき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部地域の議員定数を増やすべき。これから産業等を発展させなければならないのは南部地域であり、その議論には南部地域の議員が携わるべきである。</li> </ul>
8	議員の資質向上を促したい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定数や選挙区の議論よりも、議員一人ひとりが県民の為に仕事をしているのかを、誰もが判断できる仕組みを考えてもらいたい。</li> <li>・地域に根ざした意見を汲み取ってくれる議員を切望する。</li> </ul>
9	選挙制度に対する提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口だけで議員定数の議論を進めるのではなく、面積や地理的条件、地域の成り立ち等も考慮すべきではないか。</li> </ul>

分類	分類項目	この設問では、以下のようなご意見をいただきました
10	政策面での期待	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老若男女が暮らしやすい三重を作っていただきたい。特に、子育て世代や高齢者に比して社会との接点を持ちがたい壮年者の引きこもり問題について、どうにかしてもらいたい。</li> <li>・一般市民が住みたいなあと思う街づくりを考えてもらいたい。</li> </ul>
11	分からない等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正直適切な定数は分からない。</li> <li>・県議会には特別関心がない。</li> </ul>

### 【選挙区調査特別委員会における意見の活用について】

いただいたご意見は、全ての県民の方を対象に実施した意見募集（同設問にて実施。総回答数2, 290）でいただいたご意見と併せ、これからの選挙区調査特別委員会の議論に活用させていただきます。

いただいたご意見を参考に引き続き議論を深め、皆さんの意思等が的確に反映される選挙区及び定数のあり方を、できる限り早期に取りまとめられるよう努力してまいります。

## ○ダイバーシティ社会についての回答結果（Q4～Q9）

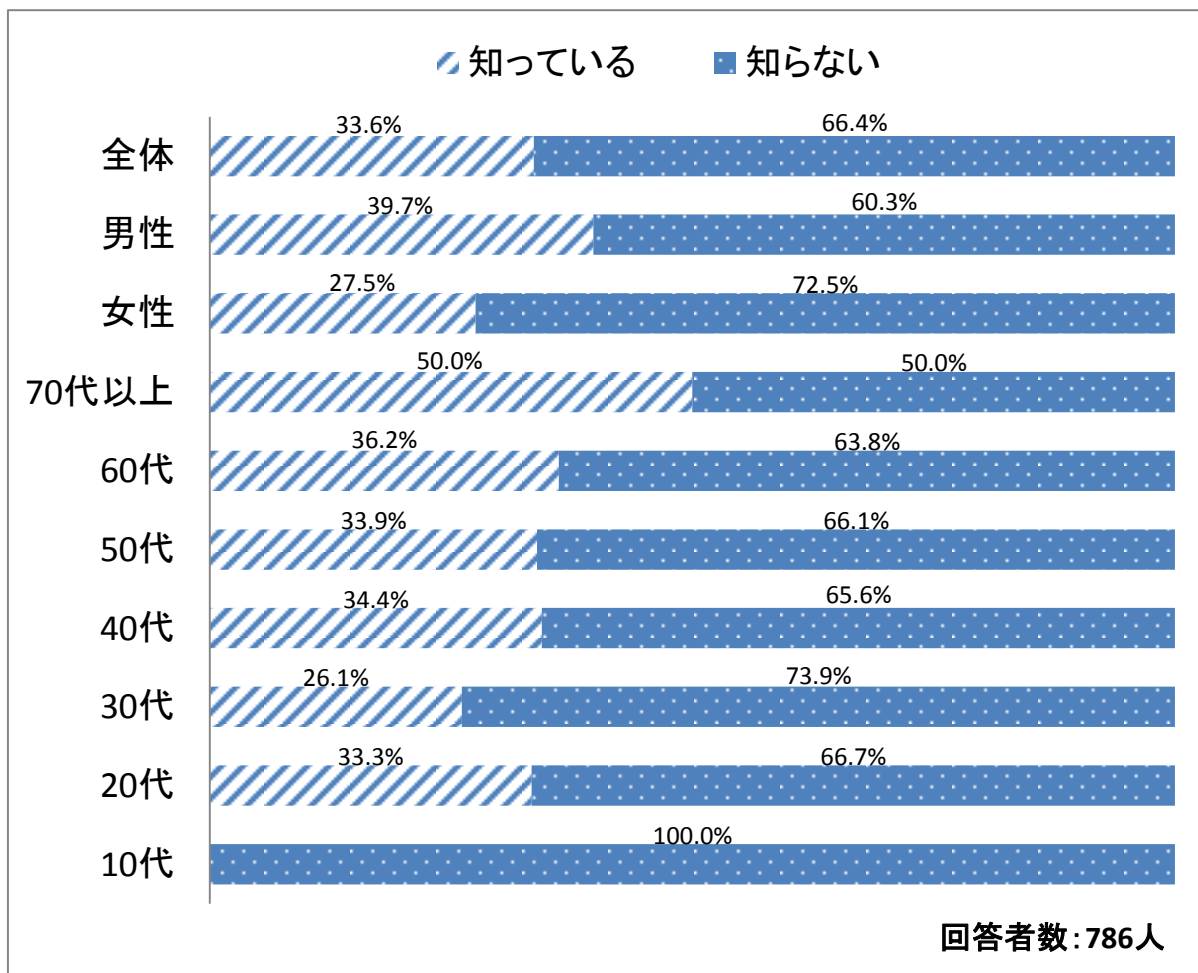
### ダイバーシティ社会推進課

#### 【Q4】「ダイバーシティ」について 1

（全員にお聞きします。あなたは、「ダイバーシティ」という言葉をご存じですか）

「ダイバーシティ」という言葉を「知っている」と回答した方が33.6%（264人）となっています。年代別では、「知っている」と回答した方の割合が70代以上で最も高く、ほとんどの年代で30%前後となっています。また、「知っている」と回答した男性の割合が、女性よりも高くなっています。

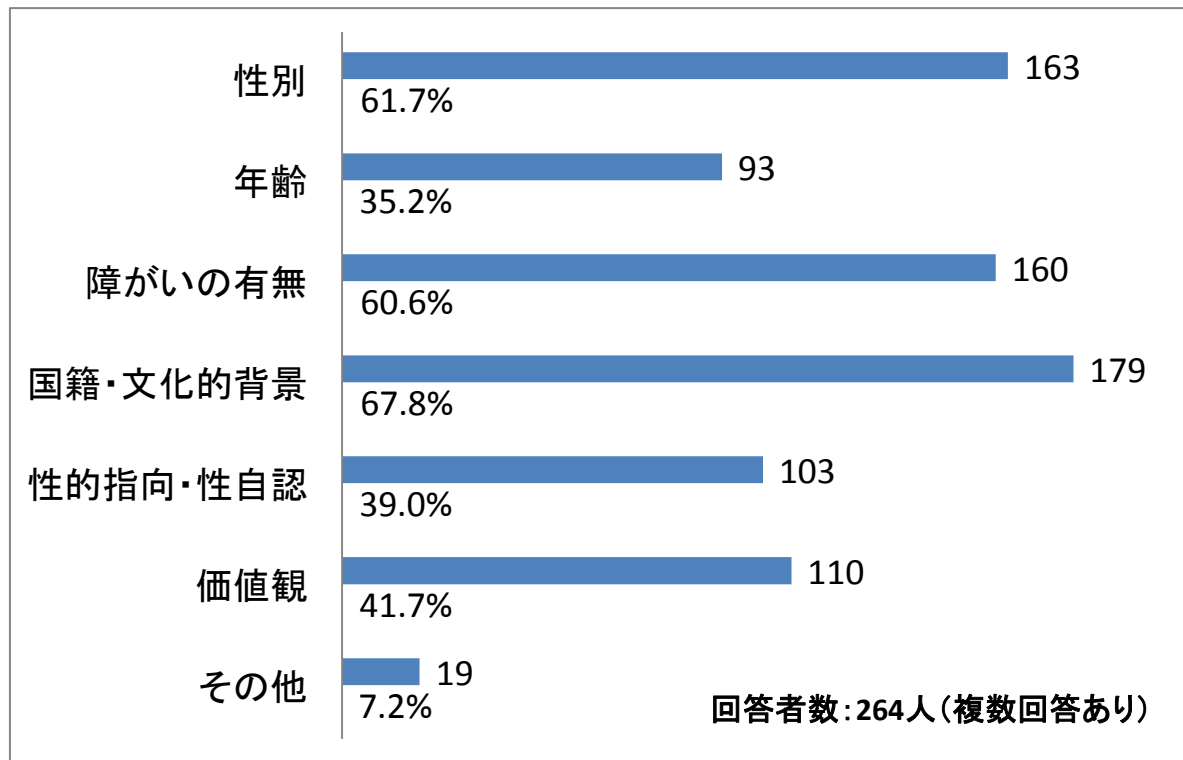
①知っている	264人	33.6%
②知らない	522人	66.4%



## 【Q5】「ダイバーシティ」について 2

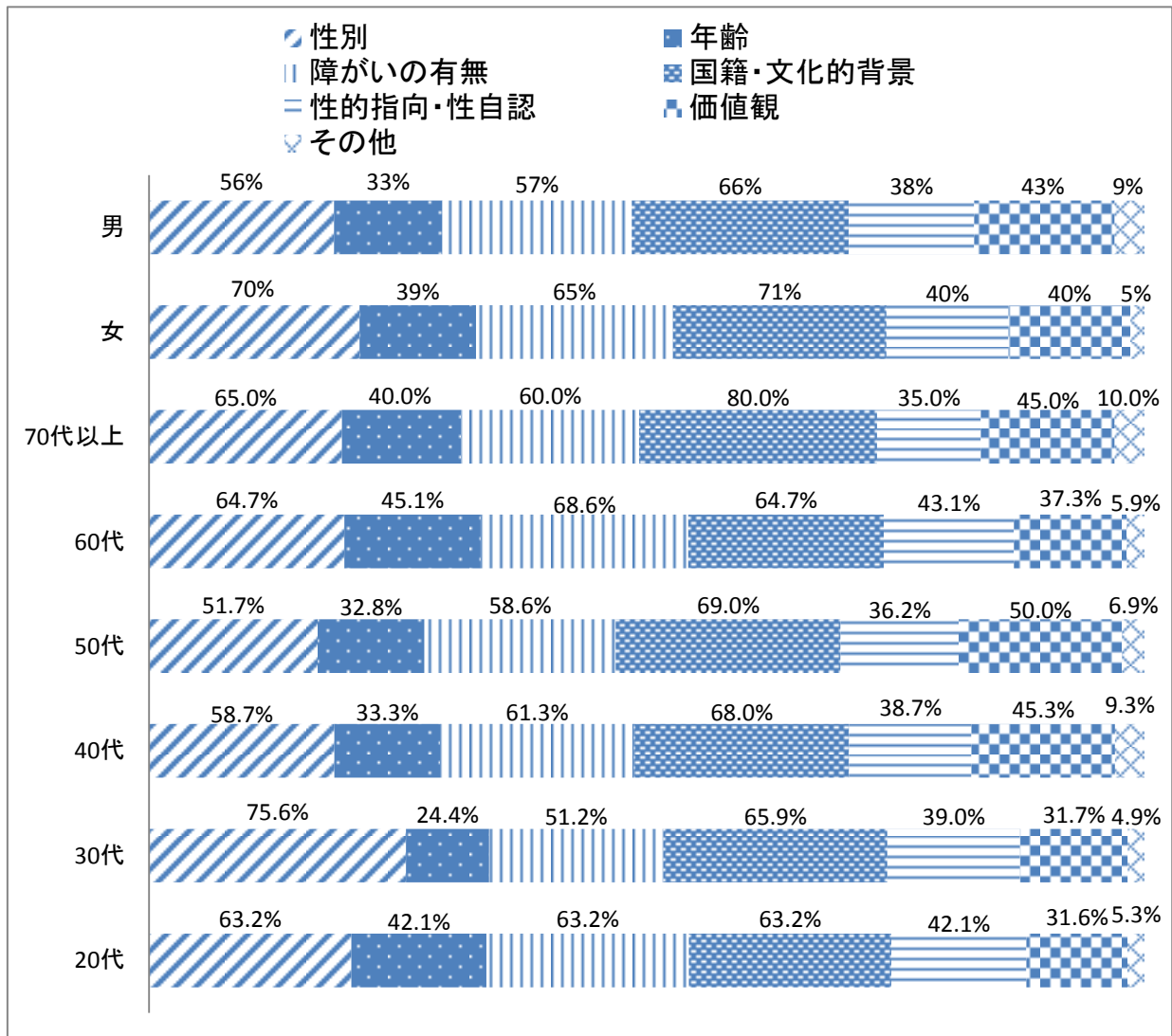
(Q4で「知っている」とお答えいただいた方にお聞きします。あなたは、「ダイバーシティ」という言葉から、何をイメージしますか。あてはまるものをすべて選んでください)

「ダイバーシティ」という言葉のイメージとして、「国籍・文化的背景」がと回答した方の割合が67.8%と最も高く、次いで、「性別」が61.7%、「障がいの有無」が60.6%などとなっています。「その他」では、「上記を含むすべてにおける多様性」や「マイノリティ」などの回答がありました。





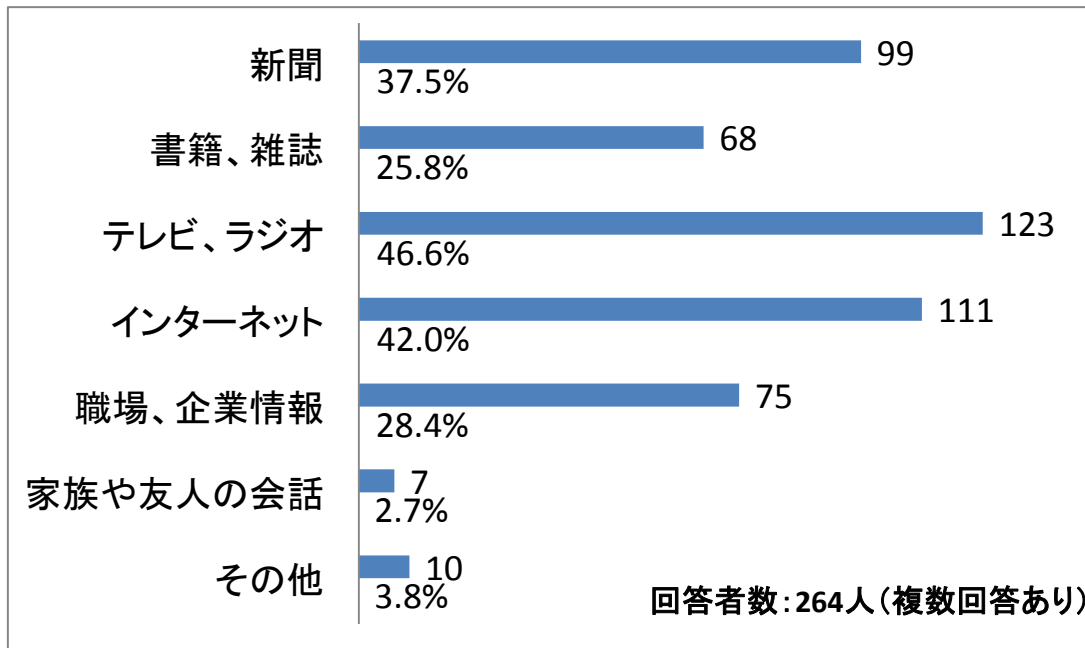
また、年代別で見ると、30代で「性別」と回答した方の割合が75.6%と最も高い、60代で「障がいの有無」と回答した方の割合が68.6%と最も高いという特徴がありました。



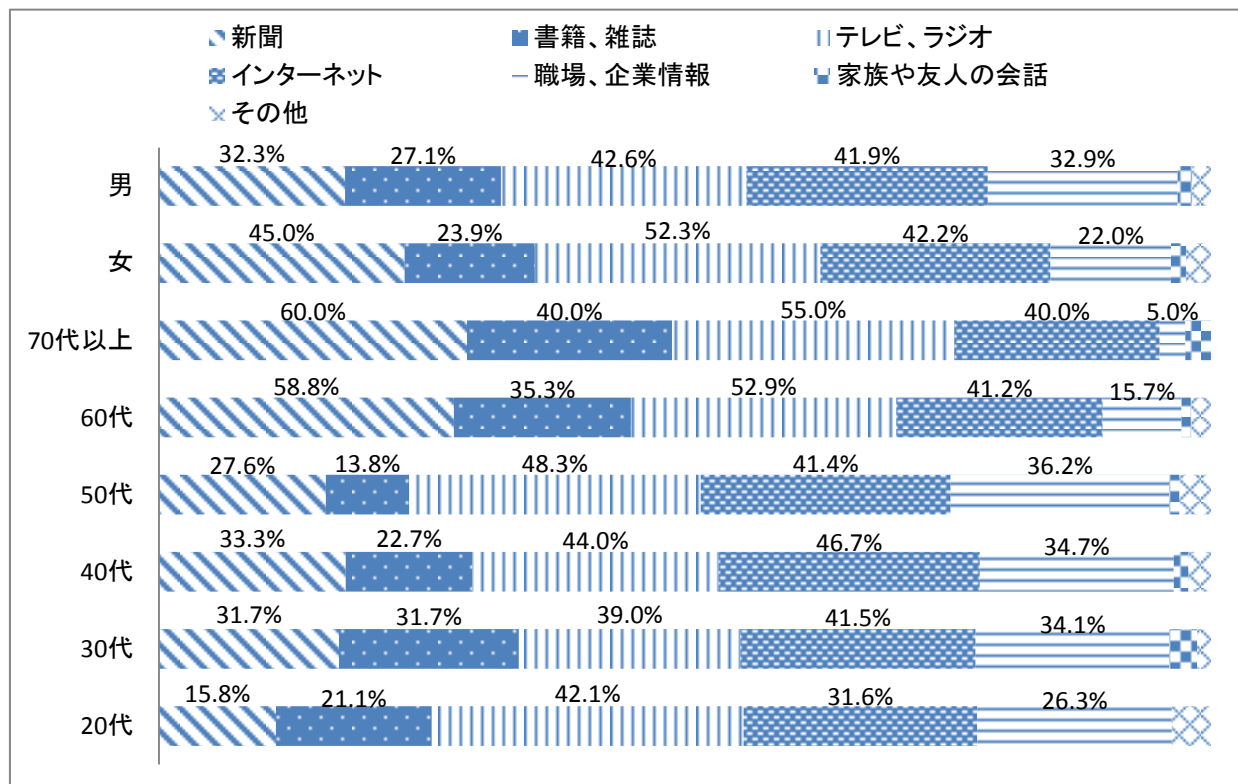
### 【Q6】「ダイバーシティ」について 3

(Q4で、「知っている」とお答えいただいた方にお聞きします。あなたは、「ダイバーシティ」という言葉を何で知りましたか。あてはまるものをすべて選んでください)

「ダイバーシティ」を知った媒体としては、「テレビ、ラジオ」と回答した方の割合が46.6%と最も高く、次いで、「インターネット」が42.0%、「新聞」が37.5%などとなっています。「その他」では、「研修」や「講演会」などの回答がありました。



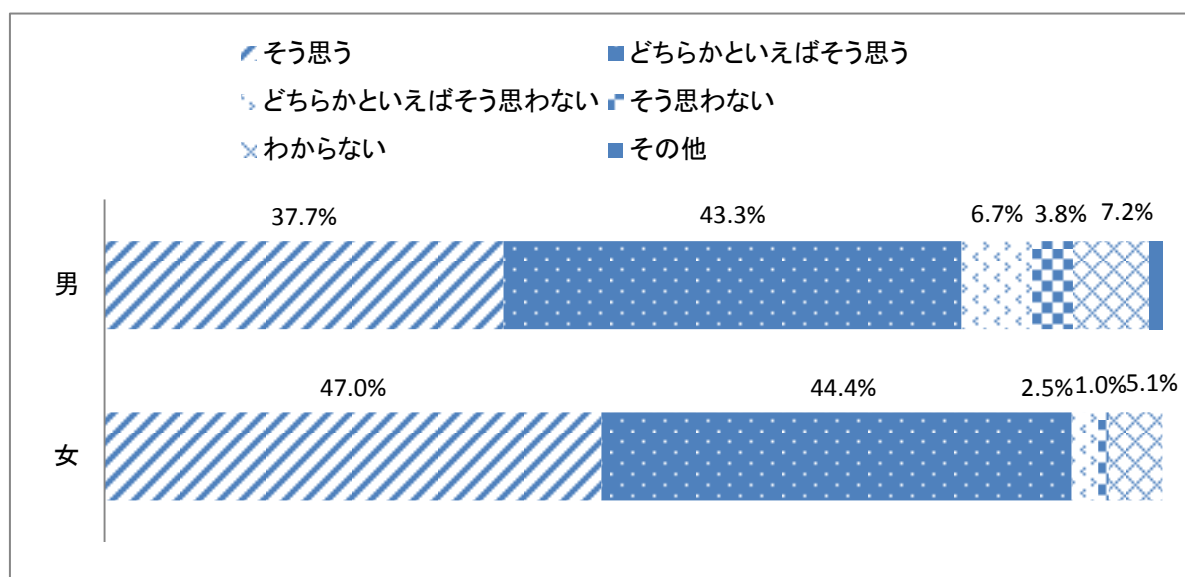
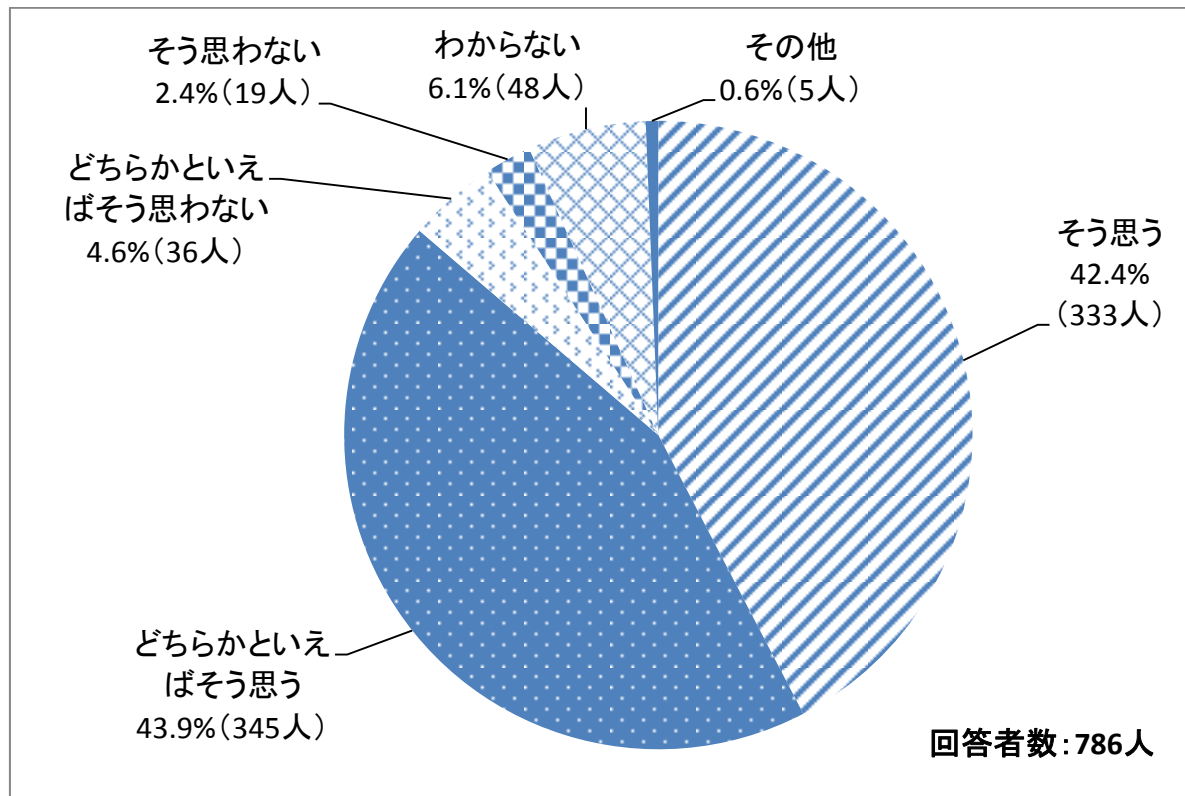
年代別では、20代から50代において、「テレビ、ラジオ」、「インターネット」と回答した方の割合が高く、次いで「職場、企業情報」が高くなっています。また、60代以上で「新聞」と回答した方の割合が高くなっています。



### 【Q7】ダイバーシティ社会の実現について 1

(全員にお聞きします。あなたは、性別や年齢、障がいの有無、国籍等にかかわらず、多様な人々が社会参画し、活躍できる社会「ダイバーシティ社会」の実現は、大切だと思いますか)

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した方が、合わせて86% (678人) となり、女性では90%を超えています。

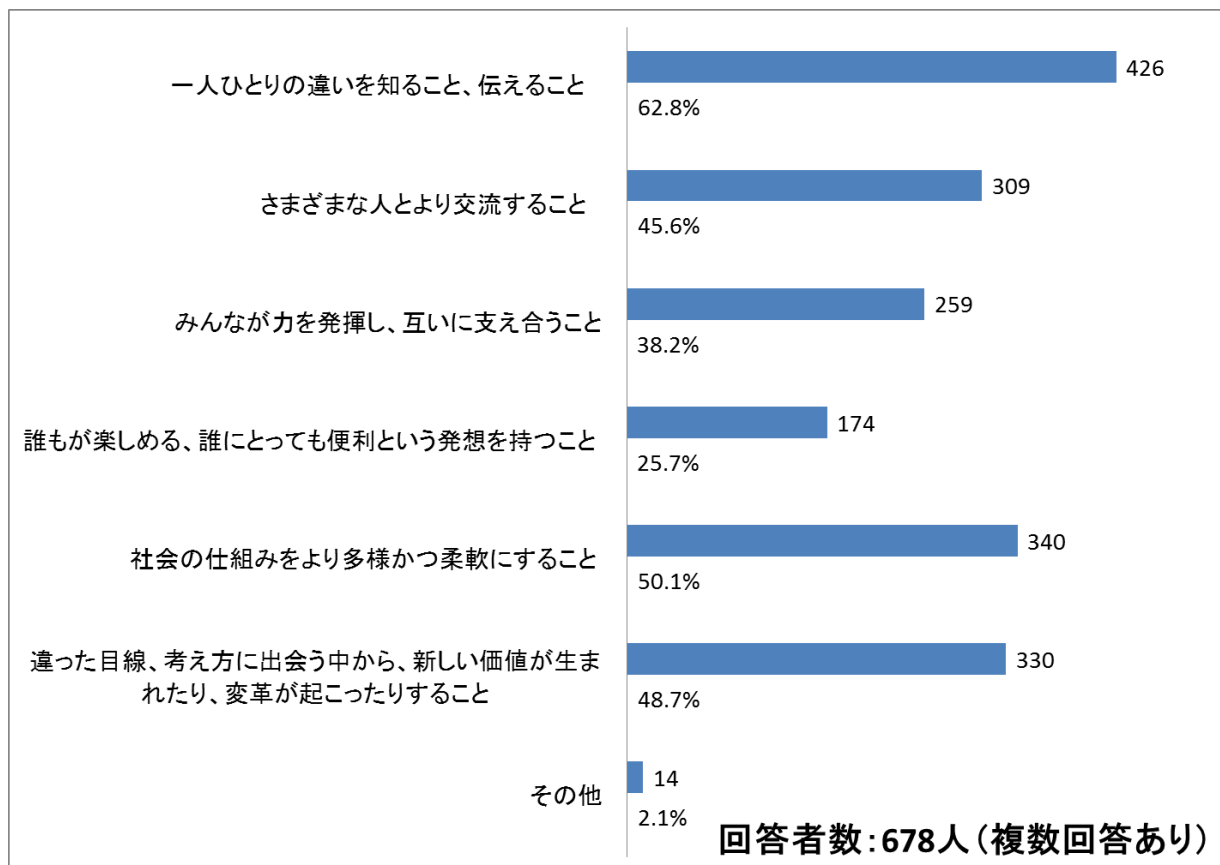


## 【Q8】ダイバーシティ社会の実現について 2

(Q7で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」とお答えいただいた方にお聞きします。あなたは、ダイバーシティ社会を進めていくうえで、どういう視点が大切だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください)

「一人ひとりの違いを知ること、伝えること」と回答した方の割合が62.8%と最も高く、次いで、「社会の仕組みをより多様かつ柔軟にすること」が50.1%、「違った目線、考え方に出会う中から、新しい価値が生まれたり、変革が起こったりすること」が48.7%などとなっています。「その他」では以下のような趣旨のご回答をいただきましたので、その一部をご紹介します。

- ・自分は周りから支えられているという感謝の気持ちを持つこと
- ・それぞれの人たちが能力を高めること
- ・偏見を持たないこと
- ・互いに尊重し、理解し合うこと
- ・価値観の違いに相互理解すること
- ・どんな人の人権も大切におもいやりを持つこと
- ・人口減少・高齢化の進む今後の社会において、従来の均質な社会構造では成り立たないことに危機感を持つこと
- ・難民、移民を受け入れること
- ・誰もが大切な存在であると認め合えること

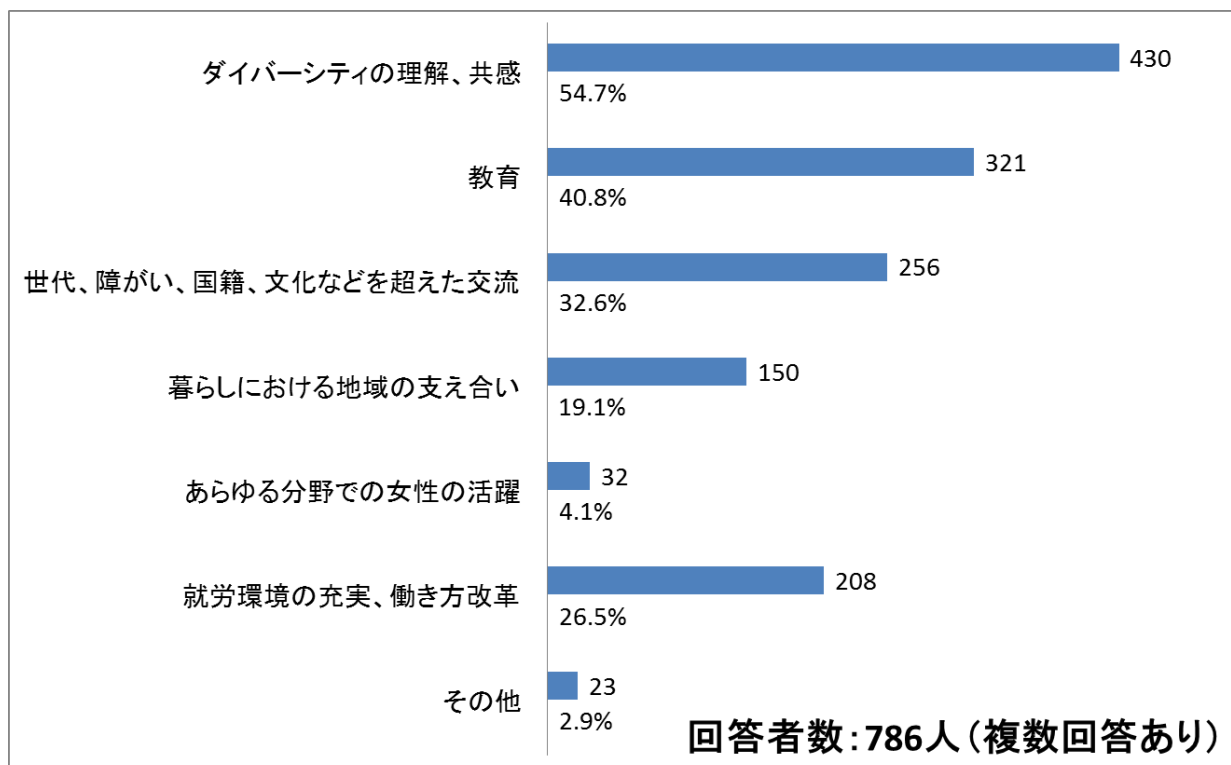


### 【Q9】ダイバーシティ社会の実現について 3

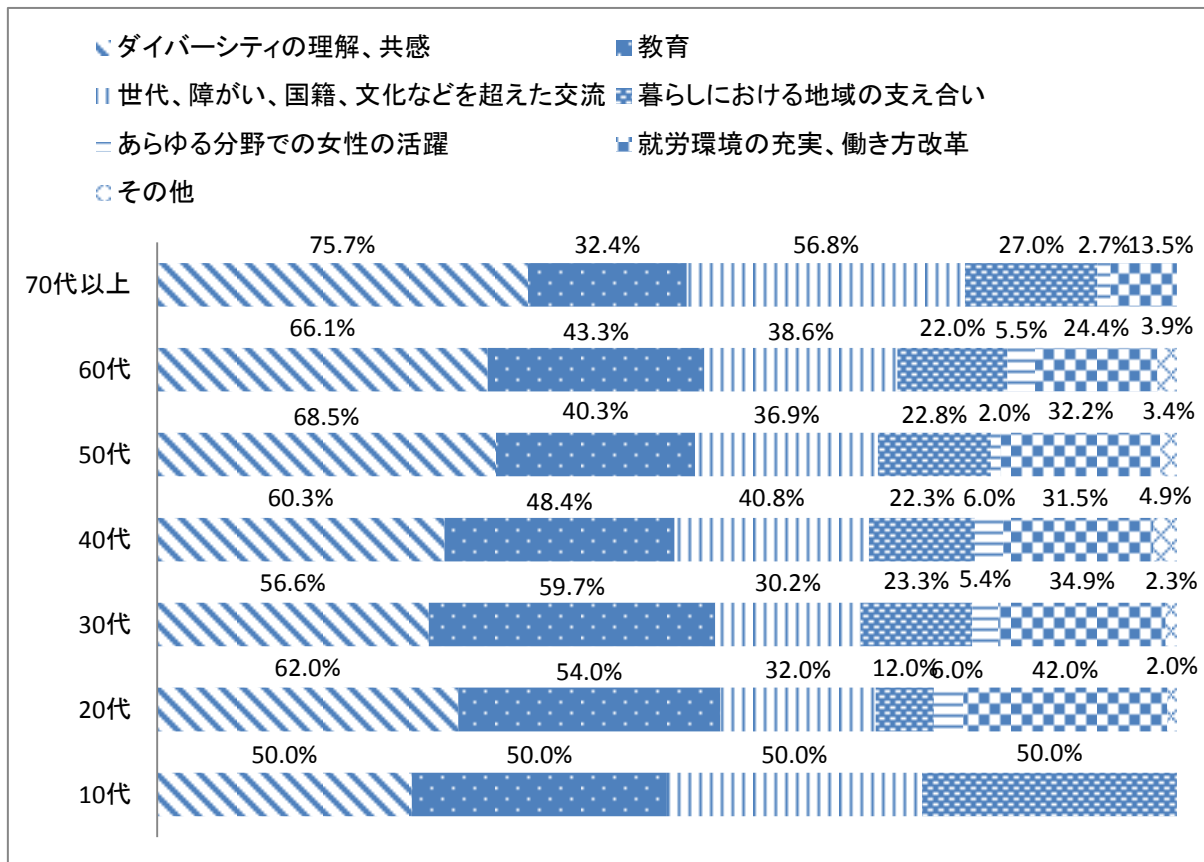
（全員にお聞きします。性別や年齢、障がいの有無、国籍等にかかわらず、多様な人々が社会参画し、活躍できる社会「ダイバーシティ社会」の実現のために、さまざまな取組が必要であると考えますが、県民の皆さんとともに進めるうえで、あなたは、県の取組として何を優先すべきであると思いますか。主なものを2つまで選んでください）

「ダイバーシティの理解、共感」と回答した方の割合が 54.7%と最も高く、次いで、「教育」が 40.8%、「世代、障がい、国籍、文化などを越えた交流」32.6%などとなっています。「その他」では、以下のような趣旨のご回答をいただきましたので、その一部をご紹介します。

- ・ 職員の労働環境から実践
- ・ なぜダイバーシティ社会を実現しなければならないのか、またそのメリットとデメリットを説明する
- ・ ルールを定める
- ・ 対象者ごとの区分が必要
- ・ ダイバーシティという言葉に実感が無いので、日本語でわかりやすく慣用化すべき
- ・ 企業がダイバーシティに協力するメリットを明確に打ち出すこと
- ・ 差別をなくす
- ・ 難民、移民を受け入れる
- ・ 言葉だけが一人歩きするのではなく、まず各世代への広い周知活動、その後活動方針の策定
- ・ 企業への補助金などの優遇策



また、年代別で見ると、「就労環境の充実、働き方改革」と回答した方の割合が20代で42.0%と他の年代と比べ高く、30代の中では「教育」と回答した方の割合が最も高いといった特徴がありました。



今回の調査結果を踏まえ、「ダイバーシティ」について、三重県における取組の趣旨や方向性等を広く発信していく必要があることがわかりました。e-モニターの皆様からいただきましたご意見やご提案は、今後のダイバーシティ社会の推進に関する取組検討の参考とさせていただきます。

## ○サイバーセキュリティ対策についての回答結果（Q10～Q17）

### 警察本部サイバー犯罪対策課

#### Q10 インターネットの利用状況について

あなたは、どのようなことにインターネットを利用していますか。あてはまるものをすべて選んでください。

項目	回答者数	割合	
ホームページ・ブログの閲覧、書き込み	572 人	72.8%	
ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)	319 人	40.6%	
動画投稿・共有サイト	180 人	22.9%	
電子メールの送受信	638 人	81.2%	
商品・サービスの購入	610 人	77.6%	
インターネットバンキング	263 人	33.5%	
オンラインゲーム	198 人	25.2%	
無料通話アプリ	338 人	43.0%	
地図・交通情報の提供サービス	599 人	76.2%	
天気予報・ニュースサイト	647 人	82.3%	
その他	18 人	2.3%	

#### Q11 インターネット利用に関する不安について

あなたは、インターネットの利用にあたって、どのようなことに不安を感じていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

項目	回答者数	割合	
パスワードなどが無断で他の人に利用される不正アクセス	617 人	78.5%	
コンピュータウイルス感染による個人情報の流出	640 人	81.4%	
コンピュータウイルス感染によるデータの破壊	548 人	69.7%	
偽物のホームページに誘導されてパスワードなどを入力させられるフィッシング	376 人	47.8%	
インターネットショッピングやインターネットオークションで代金を騙し取られる詐欺	362 人	46.1%	
ホームページを閲覧するだけで料金を請求されるなどの架空・不当請求	362 人	46.1%	
迷惑メール・架空請求メールの受信	433 人	55.1%	
ホームページや掲示板などでの誹謗・中傷	172 人	21.9%	
インターネットで知り合った人と現実社会でのトラブル	86 人	10.9%	
自分以外の家族が被害に遭うこと	300 人	38.2%	
何が起こるか想定できない	251 人	31.9%	
不安を感じない	13 人	1.7%	
その他	6 人	0.8%	

Q12 サイバーセキュリティ対策について 1

あなたが、インターネット上で被害やトラブルに遭わないように気をつけていることについて、あてはまるものをすべて選んでください。

項目	回答者数	割合	
他人に推測されないようなパスワードに設定して定期的に変更している	152 人	19.3%	
ウイルス対策ソフトを入れている	534 人	67.9%	
OSやソフトウェアを自動更新している	343 人	43.6%	
身に覚えのないメールは開かないようにしている	598 人	76.1%	
身に覚えのない架空・不当請求には対応しないようにしている	593 人	75.4%	
SNSなどに個人情報を投稿・掲載しないようにしている	383 人	48.7%	
特に対策していない	21 人	2.7%	
その他	12 人	1.5%	

Q13 サイバーセキュリティ対策について 2

あなたが、サイバーセキュリティ対策に関して感じていることについて、あてはまるものをすべて選んでください。

項目	回答者数	割合	
費用がかかる	405 人	51.5%	
手間がかかり面倒である	438 人	55.7%	
どうすれば良いかわからない	319 人	40.6%	
必要はないと思っている	7 人	0.9%	
特に関心がない	11 人	1.4%	
十分に対策できている	42 人	5.3%	
その他	24 人	3.1%	

Q14 インターネット関連の被害について 1












あなたは、これまでに、あなたのまわりでインターネットに関連する被害やトラブルに巻き込まれたという話を聞いたことがありますか。そのとき聞いた被害やトラブルはどのようなものでしたか。あてはまるものをすべて選んでください。

項目	回答者数	割合	
聞いたことがない	220 人	28.0%	
パスワードなどが無断で他の人に利用される不正アクセス	178 人	22.6%	
コンピュータウイルス感染による個人情報の流出	139 人	17.7%	
コンピュータウイルス感染によるデータの破壊	165 人	21.0%	
偽物のホームページに誘導されてパスワードなどを入力させられるフィッシング	57 人	7.3%	
インターネットショッピングやインターネットオークションで代金を騙し取られる詐欺	115 人	14.6%	
ホームページを閲覧するだけで料金を請求されるなどの架空・不当請求	191 人	24.3%	
迷惑メール・架空請求メールの受信	376 人	47.8%	
ホームページや掲示板などでの誹謗・中傷	80 人	10.2%	
インターネットで知り合った人と現実社会でのトラブル	44 人	5.6%	
その他	18 人	2.3%	



Q15 インターネット関連の被害について 2

あなたは、もしインターネットに関する被害やトラブルに巻き込まれた場合、どこに(誰に)相談しますか。あてはまるものをすべて選んでください。

項目	回答者数	割合	
家族	431 人	54.8%	
友人・知人	350 人	44.5%	
同僚	117 人	14.9%	
インターネット回線契約事業者(プロバイダ)	235 人	29.9%	
パソコンメーカー・販売店	58 人	7.4%	
サービス(ゲーム等)提供会社	47 人	6.0%	
銀行・クレジットカード会社	153 人	19.5%	
弁護士	59 人	7.5%	
消費生活センター	321 人	40.8%	
警察	375 人	47.7%	
相談しない	7 人	0.9%	
わからない	53 人	6.7%	
その他	7 人	0.9%	

Q16 インターネットを安全に利用するための情報について

あなたは、インターネットを安全に利用するにあたって、どのような情報があれば良いと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

項目	回答者数	割合	
新たな手口による被害やトラブルに関する情報	576 人	73.3%	
具体的事例に基づく被害防止策や被害発生時の対応に関する情報	510 人	64.9%	
県内での被害事例など身近な被害情報	329 人	41.9%	
被害が起きたときの相談や届出の窓口に関する情報	564 人	71.8%	
特になし	11 人	1.4%	
わからない	26 人	3.3%	
その他	5 人	0.6%	

Q17 サイバーセキュリティ対策に関する公的機関への要望について

あなたは、公的機関に対して、どのようなサイバーセキュリティ対策を行ってほしいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

項目	回答者数	割合	
産業界、学術機関と連携した情報共有と情報提供	356 人	45.3%	
一元化した相談窓口の設置	554 人	70.5%	
講演、教室などの開催	120 人	15.3%	
SNSなどを利用した情報発信	214 人	27.2%	
わからない	68 人	8.7%	
その他	16 人	2.0%	